



リハビリ便り

はじめに

高齢化と共に、認知症患者数は増加しています。65歳以上の認知症患者数は、2025年には5人に1人になると予測されています。

こんな気になる症状はありませんか？

- ・何度も同じ事を尋ねたり、最近の出来事が思い出せない
- ・「今はいつか」「ここはどこか」「この人は誰か」がわからない
- ・言いたいことがうまく伝えられない、理解ができない
- ・薬の管理やお金の管理ができない
- ・物取られ妄想がある
- ・暴言、暴力がある
- ・清潔、不潔の区別ができない
- ・うつ状態である

治療方法

①薬物療法

認知症が進行しないよう、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症など、認知症の種類や症状に応じて医師が処方します。

②非薬物療法

・生活リズムを整える

昼間は起きて活動的に生活し、夜はぐっすり眠れるように生活リズムを整えることが大事です。カレンダーや時計、新聞などを見て日付や時間を確認しましょう。

・有酸素運動

高血圧や糖尿病があると認知症になりやすいと言われており、日常的にウォーキングや体操などの運動を取り入れることが推奨されています。

・脳の活性化

一人暮らしや他者交流がない方の認知症発症リ

スクは非常に高いです。家族や友人、ご近所さんなどとたわいもない話をしたり、笑ったり、趣味に没頭したり、楽しく過ごすことが認知機能を維持させます。

おわりに

認知症は進行していく病気です。早期発見・早期治療は認知症の方や周りの家族のその後の生活を左右する非常に重要なことです。ご家族や周りの方の気づきが早期発見・早期治療に繋がることもあります。少しでも不安のある方は、専門の医療機関を受診することをお勧めします

（作業療法士・田村）



お知らせ

【ものわすれ外来】

月・水・金（午後）※要予約
担当医師：宮本 正史

下記までお気軽にご相談下さい。

★天心堂へつぎ病院★

電話：097-597-5777



【訪問リハビリテーション】

生活の場にセラピストが伺いリハビリを行います。在宅で実用的な生活動作訓練や、自宅環境の調整、生活内での運動の習慣付け、家族指導等行います。

問い合わせ先：リハビリテーション課（足立・安東）

電話：097-597-5777（代表）

ご不明な点など、まずはお気軽にご相談ください。または、担当のケアマネジャーなどへお問い合わせ下さい。